

(2) 市長説明「吉祥寺グランドデザインの概要について」

※説明資料（吉祥寺グランドデザイン概要・吉祥寺駅改良図面等）は、27 ページ以降に掲載しています。

【市長】平成19年3月に策定しました「吉祥寺グランドデザイン」については、もうご承知のことと思いますので、確認だけしまして、市がどの程度、取り組みを進めているのかを説明します。

I. 吉祥寺グランドデザインについて



吉祥寺グランドデザインとは、総合的なまちづくりをどのようにしていくかという大きなベースとなる考え方として、「基本的な方向性」として、「商業と人々の生活が一体となった『我が街』としての成熟」「行ってみたい街」「住んでみたい街」としての広域的な魅力の維持・創出と都市観光の推進」を大きく吉祥寺の目指す基本的な方向と位置づけています。

まちづくりの柱として、4点ほど設定していますが、1点目は「商業環境と豊かな居住環境が調和・連携した街」であるということで、他の繁華街とは違い、すぐに居住環境が繋がっているという特性を最大限生かしていこうという柱です。2点目で、コンパクトな街であり、歩いて楽しめる街ということから、「巡る楽しみがある街」ということを掲げています。3点目は、吉祥寺の皆様方が今まで積み重ねてこられた「上質な買物環境のある街」を継承して発展させていこうということです。4点目は、常に先端的な文化を育て、発信してきましたので、「独自文化育み発信する街」として、今後も大いに発信していこうということです。

「今後取り組むべき主な施策」について、「北の成熟、南の再整備」というテーマがですが、「早急に取り組むべき重要施策」として、「要となる駅の改善」の中では「駅からまちへの動線の改善」「駅南北自由通路の整備」を、「まち全体に関連する緊急課題への対応」の中では「荷捌き対策、駐輪対策」「まちにふさわしい商業機能の誘導」「屋外広告物等の景観阻害要素の整序」「サイン計画等による回遊誘導」を図っていくことを掲げています。

最後に、中長期に「今後取り組むべき施策」として、「南口周辺の地区再編」の中では、「駅前広場の整備」「周辺再開発等」を、「セントラル地区の更新」の中では、「ハモニカ横丁のまちづくり」「回遊の拠点となる広場整備」「必要な基盤整備(地下利用検討)」を掲げています。さらに、「地域全体が一丸となった継続的なまちの環境の維持・向上」の中で、「街並み形成」「緑化誘導」「適切な土地利用誘導」「イベント展開」等を進めていこうと掲げています。

II. 吉祥寺駅の改良計画について

今の課題の中にありましたが、「要となる駅の改善」については、この間、さまざまな議論がありましたが、ようやく鉄道事業者から計画図面を公表してよいという話があり、先般の市議会建設委員会でも説明しています。吉祥寺駅は、南北を行き来するのに狭い、くねくね

とした迷路のようなところを行かないと通れないことから、1階部分に、もっと幅広の南北通路ができないかという課題があります。北口から南口になるべく幅広の通路を設けていこうということで、この間、JRと京王電鉄と協議が整っています。幅約16mの通路が確保されますが、混雑の解消になってくる、そして南北が行き来しやすくなっていくと思われま

す。また、吉祥寺駅は、エスカレーターが少なく、バリアフリー化の進んでいない駅でした。そのバリアフリーを整備するにあたっては、全体の耐震補強工事をしないといけないという、大がかりな取り組みが必要となり、具体的には、JRの駅舎や、ユザワヤが入っている京王電鉄の駅ビルを大改造しなければいけないということになっています。JRの駅ビルについては、耐震補強の設計がある程度進んでいますが、京王電鉄の駅ビルについてはまだ改造計画が明らかになっていません。会社の方針として、2010年以降に建物を建替えていくということですが、その建替え後の中身についてはまだ公表の域に達していません。市としては、吉祥寺の駅にふさわしい、JRと京王が一体となった駅舎づくりをこれから調整していきたいと思っています。



※吉祥寺駅改良計画図面は、付属資料(27ページ以降)をご参照ください。

駅舎のわかりやすい動線を確保する中では、現在、JRの一番大きな改札口の中央口を降りて、そこから井の頭線になかなか行かれない、あるいはそこを降りると井の頭公園がどこにあるのかわからないといった課題もあります。鉄道会社の計画では、2階にすべて改札口を設けて、その周囲に通行可能な通路を確保することになっています。改札口を出たところに、案内サインをきちんと示せば、北口・南口が明らかになるし、井の頭線と京王線と中央線の乗りかえもスムーズになるということで、この計画を進めていくことになります。

鉄道会社も、今回の駅舎づくりについては、いろいろな点で配慮されていて、例えば、ガード下が裏道的で、薄暗い景観になっていますが、それをもっと表としての顔づくりをしていこうということで、高架下に化粧板を貼ったり、しつらえをきれいにしていこうという話も聞いています。

吉祥寺駅南口の駅前広場の整備という大きな課題もありますが、現在、地権者の皆様と協議をしているところです。あわせて京王電鉄の駅ビルを建替える際には、なるべくセットバックをしてもらって、ゆとりある駅前空間をつくってもらいたいということで、1階部分のセットバックのライン等については、ある程度下がったところで協議が整っています。

今後このような大規模な改造になりますが、駅を利用しながらの改造ですので、4～5年はかかると言われていています。駅というのは、めったに改造されませんので、市としてもこれからも大いに意見を言っていきたいと思えます。

Ⅲ. 駐輪場等の地下利用について

もう1つ報告しておきたいのは、地下利用の問題です。皆様からも、地下利用の検討はどうなったという話をいろいろなところでお聞きしています。1つは駐輪場の問題で、地上部

分の用地確保が難しい状況ですので、地下利用はこれからの吉祥寺で大きなキーワードととらえていまして、この間、地下の利用の可能性について検討を進めており、検討の中で、一定程度、地下利用の可能性のある場所が出てきました。ヨドバシカメラの前の道路、駅前広場、平和通りの下など、これらの地下空間は埋設物が少ないので、利用可能性があるだろうというところまで来ました。

さらに昨年から今年にかけて、例えば、駐輪場、駐車場は、どのような空間で設けられるかということの仮計画を行いまして、かつ、事業費等の概算をしています。さらに、その費用対効果があるのかどうか、また、地下ということから、維持管理費もかかってきますが、その辺を含めて、どのような実現の可能性があるのか、議論しているところです。



ただ、方向としては、地上部の駐輪場を何とか改善したいということもあり、何らかの形で駐輪場を先行的にでも整備できないかということも含めて、庁内で議論をしているところです。さらにこの検討を進めて、なるべく速やかに地下利用の実施に移れたらと思います。

あわせて、吉祥寺の課題として、荷捌きの問題があります。吉祥寺活性化協議会の塚本副会長に大変ご努力をいただきまして、今年から吉祥寺方式の荷捌きに関する対策委員会も発足して、具体的な議論を進めていただいていますので、当面はその議論を踏まえて、吉祥寺ならではの荷捌きの仕組みを確立していきたいと思えます。

吉祥寺グランドデザインで位置づけた早急に取り組むべき事業施策については、それなりにスタートしています。それをさらに姿形にしていく段階では、我々の努力と皆様のご協力も必要ですが、絵がだんだんと描けてきましたので、一步一步前に進んでいきたいと思えます。